

平成29年4月20日

大臣官房技術調査課

i-Construction を推進する技術開発を公募します ～平成29年度建設技術研究開発助成制度～

平成29年度建設技術研究開発助成制度における技術開発公募を、本日より5月31日まで実施いたしますのでお知らせします。

建設技術研究開発助成制度は、建設分野の技術革新を推進するための競争的資金制度であり、平成13年度（2001年度）に創設されたものです。

平成29年度の公募においては、我が国が直面する重要課題へ対応するための技術開発として、以下のテーマで提案を求めます。

○政策課題解決型技術開発公募（一般タイプ）

テーマ① 「3次元データ等を活用した新たな建設手法の開発」

（現場ニーズ例）

- ・ 3次元測量の精度向上・迅速化
- ・ BIM/CIMの現場活用拡大
- ・ 地下埋設物の3次元管理

テーマ② 「建設現場のヒト・モノをリアルタイムでつなぐ現場のIoT化技術」

（現場ニーズ例）

- ・ 工事現場の可視化と遠隔地からの確認・協議、出来形計測の実施、品質管理
- ・ 現場作業員・建設機械等の検知による安全管理の高度化
- ・ 資機材・運搬車両等の状況をリアルタイムに把握・共有する仕組み

テーマ③ 「建設ロボット技術等の開発」

（現場ニーズ例）

- ・ 熟練技能労働者の技術の解析・ロボットによる支援に応用
- ・ パワーアシストシステムの導入により作業の効率化、女性・高齢者等担い手拡大に応用

テーマ④ 「効率性を大幅に向上させる維持管理・更新・リサイクルに関する技術」

（現場ニーズ例）

- ・ 構造物のモニタリング支援技術
- ・ 経験が浅いオペレーターの機械除雪を支援する技術
- ・ 除草を低コストで頻繁に実施する技術

テーマ⑤ 「災害対応の高度化」

（現場ニーズ例）

- ・ 大規模災害時に被災エリア・規模・状況等を迅速に把握

※事例に示した以外の技術開発についてもテーマに沿った内容であれば、採択の対象となります。

（詳しくは、別紙をご覧ください）

問い合わせ先

国土交通省 大臣官房技術調査課 檜山、吉村（内線 22345、22348）

電話：03-5253-8111（代表） 夜間直通：03-5253-8125 FAX：03-5253-1536

平成 29 年度建設技術研究開発助成制度の公募について

1. テーマ、公募区分、交付可能期間

政策課題解決型技術開発公募

○一般タイプ

我が国が直面する重要課題へ対応するための技術開発としてテーマを設定。

テーマ① 「3次元データ等を活用した新たな建設手法の開発」

(現場ニーズ例)

- ・ 3次元測量の精度向上・迅速化
- ・ BIM/CIMの現場活用拡大
- ・ 地下埋設物の3次元管理

テーマ② 「建設現場のヒト・モノをリアルタイムでつなぐ現場のIoT化技術」

(現場ニーズ例)

- ・ 工事現場の可視化と遠隔地からの確認・協議、出来形計測の実施、品質管理
- ・ 現場作業員・建設機械等の検知による安全管理の高度化
- ・ 資機材・運搬車両等の状況をリアルタイムに把握・共有する仕組み

テーマ③ 「建設ロボット技術等の開発」

(現場ニーズ例)

- ・ 熟練技能労働者の技術の解析・ロボットによる支援に応用
- ・ パワーアシストシステムの導入により作業の効率化、女性・高齢者等担い手拡大に応用

テーマ④ 「効率性を大幅に向上させる維持管理・更新・リサイクルに関する技術」

(現場ニーズ例)

- ・ 構造物のモニタリング支援技術
- ・ 経験が浅いオペレーターの機械除雪を支援する技術
- ・ 除草を低コストで頻繁に実施する技術

テーマ⑤ 「災害対応の高度化」

(現場ニーズ例)

- ・ 大規模災害時に被災エリア・規模・状況等を迅速に把握

※事例に示した以外の技術開発についてもテーマに沿った内容であれば、採択の対象となります。

公募区分	総額	交付可能期間	備考
政策課題解決型 (一般タイプ) 【新規課題】	年度上限額 1,000 万円	1～2年間	採択後、産学官の委員会を設置すること。 等

<平成29年度交付規模、新規課題の採択予定数>

【新規課題の採択予定数】(継続課題を除いた採択予定数)

・政策課題解決型技術開発公募(一般タイプ) : 10~15課題程度

2. 公募期間

平成29年4月20日(木)~5月31日(水) 17時

3. 申請者の資格

(1) 政策課題解決型技術開発公募(一般タイプ)

①大学等の研究機関の研究者、②研究を主な事業目的としている、特例民法法人並びに一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人及び公益財団法人、又は当該法人に所属する研究者、③日本に登録されている民間企業等または当該法人に所属する研究者。

なお、これらの者が建設技術に関する研究または技術開発を自ら実施する能力を有する機関に属していること、当該機関が補助金(助成金)の機関経理に相応しい仕組みを備えていることが必要となります。

4. 応募方法

本制度の技術開発公募に応募される方は、府省研究開発管理システム(e-Rad)により申請を行ってください。なお、申請にあたっては、事前に府省研究開発管理システム(e-Rad)への研究機関及び研究者情報の登録が必要となります。

5. 参照ホームページ

「建設技術研究開発助成制度」

<http://www.mlit.go.jp/tec/gijutu/kaihatu/josei.html>

「府省共通研究開発管理システム(e-Radポータルサイト)」

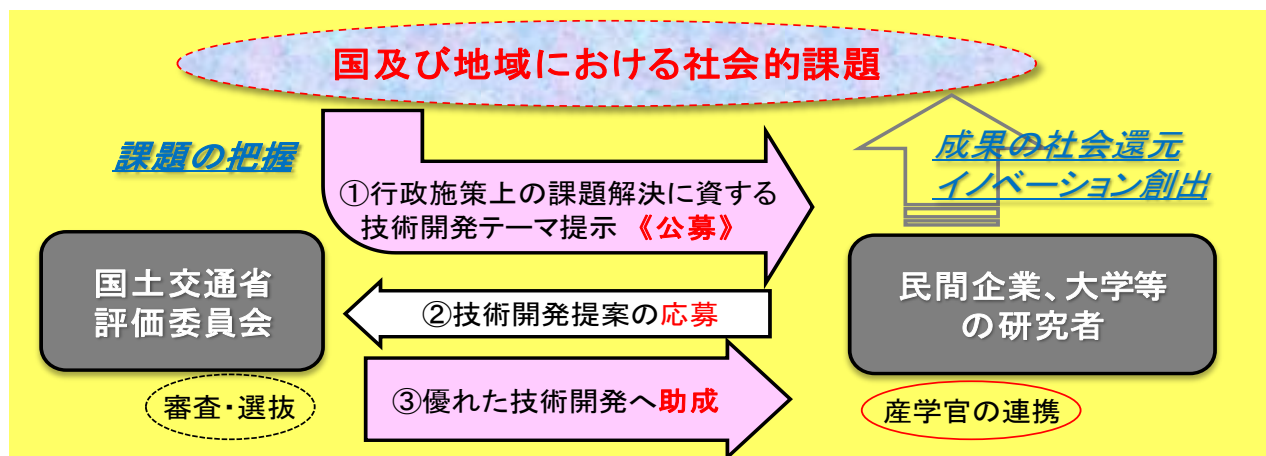
<http://www.e-rad.go.jp/>

(詳細はホームページに掲載の募集要領をご覧ください)

建設技術研究開発助成制度-平成29年度 新規公募 実施内容-

制度概要

国や地域の諸課題(地球温暖化、社会インフラの老朽化、少子高齢化等)の解決に資するための技術開発テーマを国土交通省が示し、そのテーマに対し民間企業や大学等の先駆的な技術開発提案を公募し、優れた技術開発を選抜し助成する競争的資金制度。



【政策課題解決型技術開発公募(新規)】

応募資格	交付額(上限)	期間(上限)
民間企業、大学等	年度上限額: 1,000万円	1~2年

H29年度採択予定数

- ・ 新規 … 1課題年度上限10百万円 10~15課題程度

公募期間

4月20日(木)~5月31日(水)

実施内容

□政策課題解決型(一般タイプ)

第4期科学技術基本計画(閣議決定)、科学・技術重点施策アクションプラン(総合科学技術会議等)及び第3期国土交通省技術基本計画を踏まえ、**国土交通政策上重要課題を解決するため技術開発**に重点化を図る。

(技術開発課題: 建設生産システム)

テーマ① 「3次元データ等を活用した新たな建設手法の開発」

(現場ニーズ例)

- 3次元測量の精度向上・迅速化
- BIM/CIMの現場活用拡大
- 地下埋設物の3次元管理

調査
・測量

テーマ② 「建設現場のヒト・モノをリアルタイムでつなぐ現場のIoT化技術」

(現場ニーズ例)

- 工事現場の可視化と遠隔地からの確認・協議、出来形計測の実施、品質管理
- 現場作業員・建設機械等の検知による安全管理の高度化
- 資機材・運搬車両等の状況をリアルタイムに把握・共有する仕組み

設計
・施工

テーマ③ 「建設ロボット技術等の開発」

(現場ニーズ例)

- 熟練技能労働者の技術の解析・ロボットによる支援に応用
- パワーアシストシステムの導入により作業の効率化、女性・高齢者等担い手拡大に応用

監督
・検査

テーマ④ 「効率性を大幅に向上させる維持管理・更新・リサイクルに関する技術」

(現場ニーズ例)

- 構造物のモニタリング支援技術
- 経験が浅いオペレーターの機械除雪を支援する技術
- 除草を低コストで頻繁に実施する技術

維持
管理

テーマ⑤ 「災害対応の高度化」

(現場ニーズ例)

- 大規模災害時に被災エリア・規模・状況等を迅速に把握

※事例に示した以外の技術開発についてもテーマに沿った内容であれば、採択の対象となります。